

2021/7/21

(うと)の世話し どうりで (物事の道理からして) 上手くいかなかった訳だ) 書庫版



「かくあるべし」の背伸び起因による「2年にも渡るうつ病生活に終止符を打ったその日  
「もし自分が鼻から、特別な存在等では全くなく又そうなる必要も全くなかった事に早く  
に気づき、自分は単なる一介の市井人に過ぎないし又それで十分なのだときちんと認識し  
ていたら、まさか想像上の生き物であるとは思ってもよらず、その肉鍋を食そうと追い続ける  
様な「12年もの徒労」をせずにすんだのに。その時間を他の「実り」ある生活に振り向け  
られたのに。実に勿体ない。もうこれ以上無駄はご免だ。ありもしないスカを追いかけるの  
は止めだ」

と心底納得し長年の迷妄から解放されるのを感じました。

その時の経験から現在を眺め渡してみますと自分と同様な事例が周囲に散見されるのに気  
づきました。

例えば

「誰からも愛される」又は「誰からも嫌われない」

そんな事は有史以来今迄一度たりともあった試しがないのに、口では「その通り」といつ  
つ無意識界の中では性懲りもなく且つ執拗に追いかけ続けている。

というより「誰か一人にでも」嫌われる事を執拗に恐れて続けている。

そもそもそんな事はあり得ないので努力したり気に病んだりするだけ無駄でしょう。

非の打ち所がなければないで逆にやっかみからあら探しをされ、挙げ句の果てに「やっぱり  
そうでしょ。完璧なんてあり得ない。思った通りだわ」と嫌われる事もある訳ですから。

ならば「誰からも愛される」「誰からも嫌われない」なんて言う事はあり得ない（それがこの世の常態、即ち道理な）のだから「一人や二人に嫌われたって放っておけばいいんでないの」位に肚積（はらづもり）を立て早くにその無駄な情熱に見切りを着けた方がよくはないでしょうか？

或いは又

「100%安全安心が確認される迄」

もあり得ません。

あり得ないものの、その到来を待っていたら却って「時期を逸し」てより安全安心レベルの低下した状態、即ち「より危険な状況」に陥る確率の方が上がってしまいます。

そもそも「100%の安全安心」とか「常に右肩上がりの成長」等と言うものは「人には求め易く、反対に自らが求められると途端に困ってしまう様なもの」に道理の有り様筈がありません。

それは道理でも正当な要求等では全くなく単なる「身勝手」でしかないのではないのでしょうか。

再び「そもそもそもそも」道理（物事の自律的メカニズム）を無視して自分の都合を優先させたり、いくら欲しいからと言って無い物ねだりを執拗に続けたりする事は「結果的に全くする必要のない徒労（甲斐無き無駄な時間と行為）」を引き起こすだけでしよう。

だとすれば、その優位順を過たず且つ無い物ねだりに早々に見切りを着けていれば、或いは無理や自己都合を引っ込め道理（物事の自立的メカニズム）を優先させていれば、大方の人はかなりの確率で成功又は幸福になっていたのではないかなと推測しております。